

# なんかい

NANKAI  
vol. 122  
2021.05

南海寮 広報委員会  
熊本県天草市本町下河内1685番地の1  
TEL 0969-23-3850  
FAX 0969-22-4977  
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp  
URL http://www.nankaiyou.or.jp/

## 社会の動き・SDGs(エスディー・ジーズ)を理解しよう!

### SDGsって何?

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界中の人々の生活や健康を脅かし、社会経済にも大きな影響を与えています。私たちの社会はこれからどうなっていくのか。悲観的論調が強まる中、それでも社会を動かしていこうと、多くの人々が日々奮闘されています。このような社会的背景において、改めて注目されているのがSDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」です。

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた目標です。SDGsには17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成され、「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」を目指しています。現在、各国政府や関連機関だけでなく、行政をはじめ様々な団体や企業が取り組んでいます。

国際的な目標と聞くと、縁遠い印象を受けますが、実は私たちが普段の生活の中で既に行っていることや、ほんの少し意識をすることで家庭や職場でもすぐに実践できるものが数多くあります。

また、多様性と包摂性のある社会の実現を目指すSDGsは「福祉」と深く関係しています。社会福祉法人等の事業者が普段の実践の中で行っている、障害のある人や高齢者、経済的困窮者などに対する「誰一人取り残さない」ためのアプローチはSDGsが掲げる目標の達成と課題解決に大きく貢献しているのです。

### 施設内研修 (講師/北貴之氏)

しかし、未だSDGsの一般的な認知度は低く、職員の多くがSDGsを知らない、聞いた事もないという状況でした。そのため、まずはSDGsについて理解を深めようとして外部講師(北貴之氏)を招き、セミナーを企画・実施しました。SDGsを知る上で最もベターな方法が、カードゲームを用いたロールプレイです。自分たちが住み暮らす「まち」をイメージし、2人1組のペアとなつて、仮想の人材やお金といった資源を活用しながら様々なまちづくりプロジェクトを実行していきます。その結果、個人の目標達成と併せて、自分たちの暮らすまちの「人口や経済、環境、暮らし」を向上させ、チームの目標を達成していくといったゲームです。このゲームをうまく進めていくコツは、目指すべき目標を見失わない事と、チーム全体

(社会)の事を考えながら他者と協働していく事です。しかし、初めてゲームを体験する人の多くは、目の前の利益や個人の目標だけに意識が向き、多くの場合チームの目標を達成することができません。予想通り職員も目指すべき指標を達成することができずに、自分たちの暮らす仮想のまちは、人口や経済、環境が破綻したゴーストタウンとなりゲームが終了しました。しかしその後、チームで振り返りを行う中で、ようやくこのゲームの真髄やSDGsの理念を理解することになります。

自分たちの普段の行動や、組織の事業活動が社会にどんな影響を与えているのかを大局的にイメージし、社会を構成する一人としてまずは当事者意識を持つことが重要です。また、社会問題や地域課題に対して、多様な主体や人々とパートナーシップを構築しながら目標を達成していくSDGsの取り組みは、まさに私たちが軸とする社会福祉の分野においても共通しています。

地域においても様々な今日的諸問題や福祉的課題がある中で、わたし

たちの法人ができる運動や、取り組みは決して多くはないかもしれませんが、しかし、社会福祉という「虫の目」だけでなく、社会全体を捉えた「鳥の目」も持ちながら、持続可能な地域社会の実現に向けて微力ながら寄り添っていきたく思います。

副施設長 松浦光毅



SDGsの地方創生カードゲームの様子



SDGsの17のゴールを表したアイコン

## 支援の現場から

支援内容や取り組み等をご紹介します。

### 得意なことを活かす、伸ばす

生活支援員（副主任） 井上千恵美

今回は入所利用者のMさん（女性）の話をしようと思います。Mさんの趣味は「大好きな猫の絵を描く事」「折り紙遊びをする事」です。ネコが大好きなMさんの部屋の中はネコグッズであふれ、自分で描いたイラスト等も飾ってまるで展示場のような楽しい雰囲気の一部屋で過ごされています。時には職員や利用者さんへイラストを描いたお手紙のプレゼントをして下さいます。そんなMさん、ここ最近はどう一つの趣味「折り紙遊び」に熱心です。手先が器用で折り鶴を折るのがとても上手なMさん。毎日たくさん作ってはお手紙に入れてプレゼントをしたり、紐で繋いで千羽鶴にしたり。それでもたくさん折り鶴が余っている状況で、せっかく作られた作品をどうしよう、折り鶴を使って何か他に作品がでないかと、Mさんと担当職員などとアイデアを出し合いました。そこで折り鶴にて貼り絵をしてみたらどうだろう！という事になり



貼り絵を作成する事に決定。今年に入り「お正月」「節分」「ひな祭り」「こいのぼり」と季節に沿ったテーマにて折り鶴の貼り絵を完成させました。Mさんも職員や利用者さんに「上手にできたね！すごいね！」と声を掛けられご満悦。「今度は何を作ると？」「〇〇を頑張ってます」等と、とてもやる気になっておられます。これからも季節に合わせた貼り絵の作品を作って行きましようと言話をしていますが、いつかは皆が驚くような大作を作ってみたいなどと考え中です。

その方に合わせた声掛けや支援をし気持ちよく生活をして頂けるように心掛けています。今後も皆さんの好きな事や得意とする部分を伸ばして行けるように日々私達支援員も努力していると思っています。

### アイデア&アクション

生活支援員 松下加津美

現在、私たちの生活を脅かしている新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の兆しは見えませんが、感染症対策に万全を期し支援を行っていますが、利用者さんの安全を優先するとすると、外出をせず、外部の方との接触や交流も行わない等、できない事だらけになっている状況です。そんな中、利用者さんに喜んでいただける何か楽しい事ができないだろうか、職員が知恵を出し合い計画・開催したイベントを2つ紹介したいと思います。

一つ目は「南海神社で初詣」です。毎年、年明けには近くの神社へ初詣に出かけていましたが、今年では中止となったため、それでは代わりに寮に神社を作ったかどうか？との発想で、大工級の腕前のベテラン職員と、工作好きの若手職員が協力し、お参りしておみくじまで引ける神社を作り上げました。南海神社オリジナルのおみくじは皆さんに好評で「大吉だったから今年はいい事があるぞ」と喜ぶ利用者さん



もいらっしやいました。

二つ目のイベントは「カラオケ大会」です。今回は歌うだけではなく、審査員に点数を付けてもらい優勝者には豪華賞品が贈られる企画です。大会では10組の出場者の皆さんに思い思いの衣装や演出で歌を披露して頂きました。中にはバツクダンサーを従え歌うグループもあれば、浴衣姿に歌手さながらの振り付けで熱唱する女性もいて、それぞれの個性が光っていました。準備をする職員も、衣装は何にしよう？応援団には団扇を持たせようか？等歌う本人より熱が入っていました。ここに紹介した2つはコロナ禍で制限がある中でも利用者さんに喜んでもらえる事ができるんじゃないかという思いから生まれた企画です。新しい事を始める時は不安もあり、エネルギーも必要です。それでも皆で知恵を出し合い行動するとなんとか形になると実感したイベントでした。今年度の私たちの支援目標の一つに「アイデア&アクション」があります。これを合言葉にこれからも利用者さんの笑顔第一に取り組みで行きたいと思っています。

豆まき



レクリエーションダンス



みんなでレッツダンス！！



花見



今年の春も

綺麗な花が咲きました



## 新型コロナウイルス 接種について

看護師 原田 公子

コロナウイルスが確認され、一年以上経過しましたが、依然コロナウイルスの猛威は衰える事なく、一部の地域で第4波と言われ、変異株がいくつも確認され、亡くなられたと言う報道も耳にします。そんな中ワクチン接種も順次開始されているようです。当施設にも、65歳以上の利用者の方へ予防接種についての案内が3月下旬に届きました。今回は、そのワクチンについて、ご存じと思いますが少しだけ説明をしたいと思います。接種が受けられる時期は、令和3年2月17日より翌年2月末までの予定で、順次接種人数も拡大される予定です。接種回数は2回。1回目から3週間後に2回目を受け、1回目から3週間超えた場合は、できるだけ早く2回目を接種するようになっていきます。費用については、公費のため無料です。有効性については、発症予防効果は95%と報告されており、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降十分な免疫ができると言われていきます。副反応は、頭痛・関節や筋肉の痛み・注射部位の痛み・疲労・寒気・発熱などありますが、新しいワクチンのため、これまでに明らか

になっていない症状が出る可能性があります。万が一、ワクチン接種によって、健康被害が生じた場合には、予防接種健康被害救済制度があります。なぜワクチン接種が必要なのでしょう。ワクチンには「感染予防の効果」「発症予防の効果」「重症化予防の効果」「集団免疫の効果」があると言われています。感染症に対する免疫をつけたり、免疫を強め、個人の発症や重症化を予防するだけでなく、社会全体での流行を防ぐ事が期待されるからです。ワクチン接種を迷う事もあると思いますが、副反応が出る事はあるものの、発症を防ぐメリットの方が大きいと云われています。長期にわたる副作用がないとは言いきれず、数年経って出てくる影響はまだわかっていないようですが、ワクチン接種をして重症化を下げることが大切とされています。今回の予防接種は、誰も経験した事がなく予測が難しい状況です。てんかんなど基礎疾患のある方や、自分で体調の変化を伝える事のできない利用者の方に安全に実施するためにはどうすれば良いのか、関係各所と連携を取りながら進めている所です。ワクチンを接種しても、感染予防は必要です。引き続き感染予防に努めていきたいと思えます。

## コロナ禍における 新しい食事の風景

管理栄養士 田中 佳子

皆さんは「シチリアスパゲティ」をご存知ですか？茄子とベーコン、ピーマン、にんにくを炒め、ドレッシングで味付けするスパゲティだそうで、ある利用者さんが私に教えてくれたメニューです。当施設に入所中の利用者さんがご自宅に帰省された際にお母さまが作ってくださる母の味だと思われれます。コロナ禍で外出・外泊も控えて頂き不自由な生活を強いられる中、その利用者さんはお母さまの料理を思い出し、食べたいなあと訴えていたのです。

先日、嗜好調査を実施しました。調査項目として、ご飯の固さや食事の量、味、主食や副菜等について伺いました。施設での嗜好調査の方法は聞き取り調査、自分で記入してもらう方法、その他イラストを用いて選んでもらう方法と3パターンの調査方法で、その方の理解度によって分けて調査しています。結果は大部分の方が給食に満足しているとの返答でした。ただ、ご飯が乾燥している時があり、固いという意見がありました。食べる順番に応じて時間をずらして盛り付けているのですが、食べに来るのが遅くなっている方のご飯は乾燥して

しまっていたようです。これは今後、ご飯用の蓋を購入して乾燥しないような対応をして改善していきたいと思えます。食べたおかずは肉料理、主食は麺料理が多いといった結果でした。食べたい料理は、食べ慣れた定番の料理をリクエストされる方が多かったです。カレーや唐揚げ、ラーメン、うどんといった料理が人気メニューでした。また、ハンバーガーやフライドチキンが食べたいたの要望を言われる方もいました。以前だったら外出して、ショッピングセンターのフードコートで食べていた味。外食の願いは叶いませませんが、ハンバーガーをテイクアウトしたり、配達の手配も行っていきます。前述の利用者さんは、お母さまが手作りお弁当を差し入れて下さることで母の味を味わうことができました。給食で利用者さんの食事に対する要望を全て叶えることはできません。日常的健康的な食生活を支えることが給食の務めではありますが、時には思い出の味を懐かしく思うこともあるでしょう。そんな時はコロナ禍で困難の時でも可能な楽しみを見つけ、苦境の中でもアイデアと工夫で乗り切り、次なるアクションにつなげていきたいものです。

「南海寮通所センター」は、令和3年4月より「障害者支援施設 南海寮」と事業分離し、名称を「通所センターあいむ」（生活介護20名）としてスタートいたしました。ご利用者はもちろん、福祉ニーズを抱えた人たちが、地域の中で、また自身の人生において、より良く自己を確立できるよう「This is who I am = 【これが私です】」を尊重した支援を実践していきたいという思いから事業所名を「あいむ」としました。設置・運営主体や提供するサービスに変更はありませんが、これまで以上に利用者の皆様に喜んでいただけるようスタッフ一同努めてまいります。今後共よろしくお願致します。

なお、「通所センターあいむ」の事業分離に伴い、「障害者支援施設 南海寮」の生活介護の定員が85名から70名に変更となりました。また、自立訓練事業（定員6名）は令和2年度末を以て廃止させていただきました。

## あいむだより



4月1日の朝の送迎時に密かな楽しみが私にはありました。皆さんを乗せて施設に近づくと一人の方が「あっ！！看板があいむに変わってる！」との声を聞いてニヤリとしました。そうなんです！今日から新しい事業所としてスタートの日なんです。事前に皆さんに説明をさせて頂いていましたが、実際に看板や送迎車のステッカーが変わるなど目に見える形で分かったと実感が湧きますね。車から降りた後は手指消毒、バイタルチェックを済ませるとみなさん朝礼までワクワクしている雰囲気を感じました。一方職員は少し緊張気味でした（笑）

朝礼が始まるとみなさん輪になって座っているのですが…まあ多いこと！しかも、春休み中で利用している学生さんもいましたので、なんだかTVでよくある大所帯の家族的なものを思ってしまった（笑）朝礼では改めて新しい事業所の説明をした後、新しい仲間や職員の紹介を行いました。みなさん元気に挨拶をされていました。こうして新しい「あいむ」での活動がスタートしました。いつになっても新しいスタートというのは気分が今までとは違い「よし、やるぞ！」って気持ちが出てきますね。この気持ちを忘れずにしていきたいです。共に生活して行き、皆さんの「これが私です」の「I'm」を今よりたくさん見つけて行きます。また、紙面を通してその雰囲気を伝えていけるように今後も「あいむだより」としてお伝えしていきます。

浦上 寛司

### 編集後記

私事ですが、新年度より南海寮から通所センターあいむへ異動となりました。初めての場所で新たに覚える事も多く、利用者の方も支援方法も違う為早くたくさんの業務ができるように頑張っているところです。先輩職員の話しを聞きながらメモをとっていると、8年前に入社した時を思い出しあの頃は社会の事も福祉の事も全く分からなかった私でしたがたくさんの職員さんに支えられたからこそ今があると感じています。今後も初心に戻り、振り返りを行いながら支援を行いたいと思います。

春は出会いの季節でもあり別れの季節でもあります。私は本体施設で仕事をした7年間学んだ事を活かしながら、通所センターあいむで支援を行い利用者さんと一緒に壁面を作ったり楽しいイベントや活動ができるように考えて行きたいと思います。5月になりずいぶん温かい季節となりましたがまだまだ朝夕は肌寒く衣類の調節が難しいです。皆さんも体調管理を行いながらお過ごし下さい。

和田咲貴

- 新任職員…木下 君子（グループホーム世話人）  
若杉 朴斗（用務員）
- 新規入居利用者…若杉朴斗 様（グループホーム）

### 令和3年度 家族会総会

4月24日（土）、令和3年度の家族会総会を開催。本年も感染症予防の観点から、ご家族の皆様を招集しての対面による開催を断念。役員のみを招集し、書面決議及び役員付託による決議にて開催しました。無事に令和2年度の事業報告並びに決算、令和3年度の事業計画・予算について承認されました。

家族会としては、本年もコロナ禍の中での運営や活動が続きそうですが、利用者さんと家族の関係、施設と家族の関係が希薄にならないよう、連携を図りながらできる限りの取り組みを行っていきたくと思います。

### 今後の予定

5月6日 創立記念食事会（利用者・職員のみで開催）

※今年度も愛藍ビック（天草地区施設合同スポーツ大会）の開催はございません